

第18回日本健康・栄養システム学会大会開催にあたって



第18回日本健康・栄養システム学会大会

大会長 杉山みち子 神奈川県立保健福祉大学栄養学科長 教授

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、格別のご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

さて、このたび、第18回日本健康・栄養システム学会大会を2018年6月23日（土）、24日（日）の2日間にわたり、神奈川県立保健福祉大学（横須賀市）におきまして開催させていただくことになりました。

本学会は、すべての人が生涯にわたり、健康に過ごせるための健康・栄養ケアを科学的根拠に基づいてシステム化することを目的とし、2001年に第1回大会より18年にわたり開催されております。また、本学会の目的を達成するために、300名以上の臨床栄養師を育成してまいりました。さらに、栄養ケア・マネジメントの制度に関わる研究を臨床栄養師と協力して取り組んできております。

第18回となる本学会は、2018年4月から実施された診療報酬・介護報酬同時改訂を受けて開催されることとなります。そこで、今後の健康・栄養システム学会の在り方やその実践、そして人材育成について、次世代とともに課題の整理や意見交換を行い、これからの健康・栄養ケアのシステム化に寄与できることを考えております。

また、中村丁次を学長とする神奈川県立保健福祉大学は、ヒューマンサービスの実践というミッションのもと、2018年4月に公立大学法人化し、新たなスタートを切りました。フロンティア精神の聖地ともいえるこの横須賀の地で、会員の皆様や関心のある方が集い、健康・栄養ケアのシステムとその実践の明日を、そして未来を語り合い、次世代へとつないでゆきたいと考えております。

特別講演、教育講演、シンポジウム、リレー発表では、このテーマに沿った内容を予定しております。また、一般演題では、全国の臨床栄養師や神奈川県栄養士会会員を中心とした医療・福祉の健康・栄養ケアの研究や実践を担う多くの会員や関連の皆様にご発表いただくとともに、研究交流会を通じてご参加の皆様の活発な討議と交流の場にしたいと考えております。

また、横須賀の食や観光も是非お楽しみください。

先生方に実りある大会になりますことを祈念し、開催に向けてのご挨拶とさせていただきます。

平成30年5月吉日